



関東の高野山足利市浄因寺
行道山山頂の寝釈迦
(60cmくらいで可愛い)

東京清掃労働組合退職者会機関紙

清友

No.137

2021年1月
(2021年1月7日発行)

東京清掃労働組合退職者会

〒102-0072 千代田区飯田橋3-9-3 SKプラザ5F

TEL 03 (3237) 9995 FAX 03 (3237) 4541



新春の集い2020
(今年もやりたかった)

- | | |
|--------|-------|
| ○ 会長 | 庄司 隆男 |
| ○ 副会長 | 丹野富士雄 |
| ○ 副会長 | 柳 章 |
| ○ 事務局長 | 戸枝 章 |
| ○ 幹事 | 渡辺 正勝 |
| ○ 幹事 | 岩渕 勝美 |
| ○ 幹事 | 山岸 治美 |
| ○ 幹事 | 佐藤 晋一 |
| ○ 幹事 | 岡澤 徹 |
| ○ 幹事 | 押田 五郎 |
| ○ 幹事 | 箱田 修一 |
| ○ 幹事 | 篠田 和則 |
| ○ 会計監査 | 穂戸田 功 |
| ○ 会計監査 | 小林 守 |

これらを実現しましょう。

- 改憲発議阻止・政権交代
- 「現・退一致」の取組みで、
- 脱原発、核廃絶と基地撤去
- 東京清掃の闘い前進
- 非正規差別の撤廃
- 年金・医療・介護制度改善
- 退職者会の会員倍増



今年の干支は「丑」。
「丑つまずき」で相場

今年の夢

コロナ禍にあつても 社会を変える闘いを

東京清掃労働組合退職者会

会長 庄司 隆男



会員ならびにご家族の皆さま、明けましておめでとうございませう。本年も皆さまが健やかに過ごされませうよう、心より祈念いたします。

昨年は新型コロナウイルス感染症が猛威をふるい、大変な年になりました。退職者会

も3月以降の行事を停止せざるを得ず、定期総会も一年延期しました。社会的活動も各種行事・集会が中止になるなど厳しい事態に直面しました。一方、安本法制等の強行により立憲主義を破壊し、貧困と差別を蔓延させ、モリ・カケ・

サクラなど脱法行為を繰返し、国会でウソをつき通した安倍は、首相連続在任日数が歴代最長を記録したとたん、またしても政権を投出しました。後任は、自民党内の派閥力学により選出された菅でした。就任早々「自助」を強調し、新自由主義者をブレーンにかかえるなど、反労働者性をあらわにしています。オリ・パラは開催困難なのではないかと思いますが、オリ・パラ時期の後に総選挙が想定されませう。今度こそ、政

権交代を実現させませう。退職者・高齢者の運動をはじめ、反戦平和、反差別、脱原発や、非正規・労働争議支援の取組みを「現・退一致」の立場に立って進め、現役世代の応援団として、東京清掃との連携をさらに強めます。コロナは、しばらく治まらないかもしれない。集まらない厳しい状況が続いたとしても、元気に楽しく活動できるように工夫していきたいと思ひますので、皆さまの一層のご協力をお願いいたします。

清掃労働者として 誇りをもって運動を

東京清掃労働組合

中央執行委員長 中里 保夫



新年あけましておめでとうございませう。

新型コロナウイルスの拡大が深刻化する中、清掃事業を含めた様々な公共サービスを担う労働者が感染のリスクを抱えながら、住民生活を支えています。また、近年多発している大

規模自然災害では、地域を越えた支援を行っています。しかし、東京23区では、この間合理化と各区の施策の違いから、緊急時の連携した対応が難しくなっています。

清掃事業は、住民に最も近い公共サービスです。常に街

中の詳細な情報を得ることにより、自治体の政策に活かすことができませう。安全で安心な質の高い公共サービスを維持するためには、人員と機材の確保、縦割りを払拭した横の連携、安全衛生の取組、賃金と労働条件の改善が必要でませう。

昨年の賃金確定闘争は、新型コロナウイルスの影響で、一時金と月例給の2段階の取組となりました。結果は、一時金は0・05月の引下げ、月例給は改定なし

となりませうが、担当技能長の配置と再任用の級に係る専門委員会の設置、技能主任と技能長の昇任選考特例措置の2年間延長、月例給の公民較差算出に伴う特例的な措置を継続させることができませう。今年も23区の清掃事業を担う労働者として自信と誇りを持ち、運動を進めていきます。結びになりますませうが、退職者会の皆さまのご家族のご健勝・ご多幸を祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

1・23「新春の集い」は中止…
3・11「演芸鑑賞会」は様子見

新春の集いは残念ですが

コロナの感染拡大が止まりません。四都県知事の要請を受けた政府は首都圏対象の「緊急事態宣言」を発出するとしています。



「新春の集い」を何とか開催したいと思いましたが、この事態を迎え、心残りですが、中止することにしました。

演芸を楽しむ会も様子見

今後、イベントや興行の中止措置などが行われなければ、会食を伴わない行事は可能と考えており、3月11日に新宿末広亭で開催する予定の「演芸を楽しむ会」の準備を進めています。



しかし、先行きは分りません。コロナの感染がさらに増大し、興行の自粛が行われるかもしれません。参加募集は

少し様子を見ることにし、1月募集開始を2月へ繰り延べます。予定している実施内容は別記のとおりです。参加の検討に活用してください。

4月2日小金井でお花見

お花見ウォーク

キングは、

▼4月2日

▼小金井公園

▼参加費500円



で開催する計画を立てています。昨年のような都立公園での花見自粛措置等が採られなければ、開催可能と思います。2月末頃に、可否の最終判断をするつもりです。

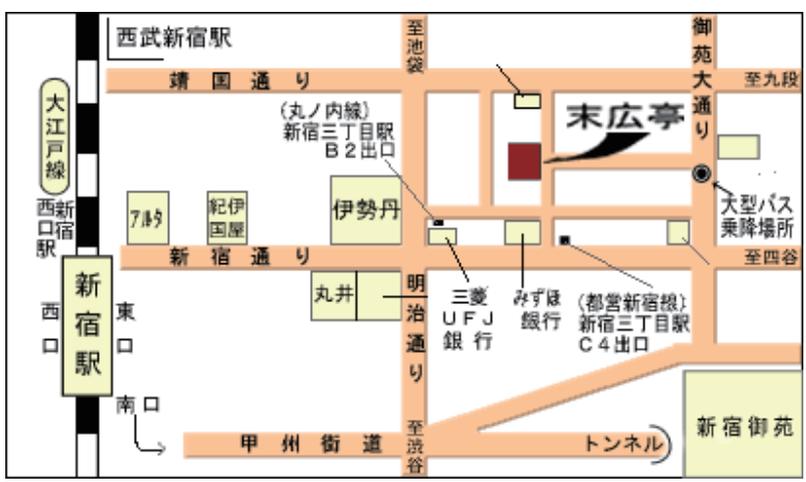
5月にフィールドワーク

昨秋中止した「つくだ・つきしまフィールドワーク（もんだの会）」は、5月に再チャレンジします。



「演芸を楽しむ会」実施内容

- 日時 3月11日(木)
12時新宿「末広亭」前集合
- 演目 新宿「末広亭」3月中席「昼の部」(12時～16時30分)を鑑賞
演者は落語協会所属、番組は1ヶ月前に公表されます。「夜の部」(17時～21時)も引き続き鑑賞可能です。(自由参加)
- 会費 1,500円(シニア対象)
65歳未満の方も同額
- 留意点
*コロナ対策のため、場内での食事は禁止されています。飲みものは可ですが、アルコールは禁止です。
*開演日の1週間以内のキャンセルは、キャンセル料が発生します。
- 参加募集は2月に行います。



「近況報告」をよろしく

今年も、皆様の近況をまとめて「会員のいま2021」を発行します。日常の出来事や健康、趣味、現在関係している運動に関する報告、社会に關することや今考えていることなど、何でも結構です。

特に、今年はコロナ禍で交流の機会が著しく制約されていますから、紙面交流という面でも活用していただきたいと思います。

締切は2月初め、報告集の発行は3月初めです。みなさんの投稿をお待ちしています。



後期高齢者医療費2割負担政府案 本人年収200万円以上で確定

社会保障審議会医療保険部会は、12月23日、後期高齢者医療費2割負担について、「課税所得28万円以上及び年収200万円（複数世帯は320万円）以上、施行後3年間の「外来患者の月負担増を最大3千円に収める（配慮措置）」を最終のまとめとしました。

財界は2割原則化を主張

審議会の中で、財界側は「2割負担を原則とすることを視野に」と主張、医師会は「応能負担は窓口負担で行うのではなく、保険料で行うのが基本」との原則論を展開したうえで、受診抑制が生じる懸念への対処等を注文付けました。

2割原則化を阻止しよう

医療費2割化の議論の場は、18日開始の通常国会に移りまします。野党は、国会論戦で問題点をきちんと指摘し、再拡大防止を明確化させるべきです。その次の課題は、2割負担

の拡大防止と、社会保障制度の原則に立ち返った改善です。

医師会が従来から一貫して主張しているように、「社会保障の応能負担は、給付で行うべきではなく、保険料で行うべき」です。現役並所得者の医療費3割負担や、介護保険自己負担割合2割・3割が導入されたことで、応能負担の考え方の大原則が崩れました。

財界は依然として「2割負担の原則化」を狙っています。「小さく産んで大きく育てる」は、抵抗を抑えるための常套手段です。「2割枠の拡大」の阻止が当面の最大課題です。

連合はなぜ2割化を主張

会員から、「なぜ、連合は2割化に賛成するのか」という質問がありました。

連合傘下の民間労組の主力は、健保組合をもっている大企業です。健保組合は保険者として後期高齢者支援金を出す立場です。支援金を減らせ

れば、現役世代の保険料を下げられ、企業の社会保険費用の負担も減ります。企業と一体になっている大手民間労組の考え方をベースにしているということです。

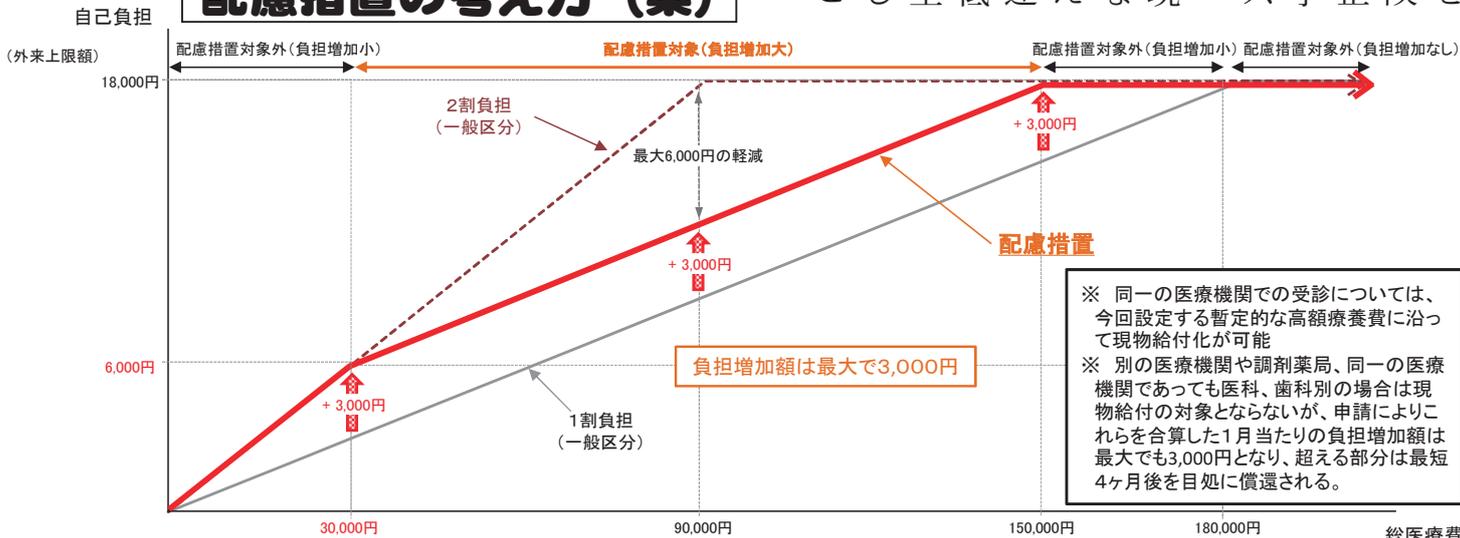
退職者連合・自治退は「現役世代もいずれ高齢者になる」と、連合の姿勢を変えることに努力しました。連合が「2割化にあたり、低所得者に配慮すべき」と主張したことはその現れでした。連合の姿勢を変えることも今後の課題の一つです。

配慮措置の仕組み

2割化にあたり3年間の期限付きで導入される「配慮措置」は、下図のように、月負担額が6千円（医療費は3万円）を超えた分の医療費を1割負担にすることで、月の負担増を3千円以内に抑えるというものです。

多少の効果は認められますが、所詮、選挙目当ての小手先のごまかしでしかありません。

配慮措置の考え方（案）



「生きていくのがつらい」…「自助・共助」
 では貧困と差別にあえぐ人々を救えない

コロナで株価バブル?

昨年末、東証大納会で株価はバブル以来31年ぶりの高値を記録しました。コロナに対応する世界各国の経済対策や金融緩和策で金あまりとなり、株価を押し上げたのです。

一方、コロナ倒産や解雇により、多くの人がいのちの危機に陥っています。その対策も含めて投入された資金で大儲けする1%の超大金持ち、これっておかしくないですか。

コロナ被害相談村が開村

この年末年始、コロナ被害に喘ぐ人たちに手を差し伸べる活動が各地で行われました。

新宿の大久保公園では、「年越し支援・コロナ被害相談村」が労働弁護団、連合・全労連・全労協等により12月29日・30日・1月2日に開村。生活相談と食料や交通費支援、東京都が用意した緊急一時宿泊施設や生活保護手続き、病院へ

の誘導等が行われました。

コロナで日雇い現場がなくなった、食堂の閉店で解雇され休業補償にに応じてもらえなかった、ホテルの仕事がなくなり再就職できないなどの相談事例を見聞きました。難民申請が認可されず野宿生活する外国籍の人もいて、いずれも所持金はほぼ底をついており、セーフティネットの貧弱さを象徴していました。

主催者の発表では、相談者は337名、対応したボランティア

ア延べ350名、カンパは200万円だったそうです。

連合も協力し、1月2日の朝、個人の立場で神津連合会長が訪れていました。

年越し大人食堂21開設

四ツ谷の聖イグナチオ教会では、市民団体が構成する「新型コロナウイルス緊急アクション」主催の「年越し大人食堂21」が、1月1日と3日に開設され、弁当&暖かいスープの配布と、生活相談が行われました。

昨年は百食、今年は倍の2百食用意したところ、開始早々出尽くし、その後3百食を追加したとのことでした。

こちらの会場では、女性や家族連れの姿が目立ちました。大久保でもそうでしたが、13年前の「年越し派遣村」とのきと違い、若い人が増えていて、見かけで人を判断してはいけません、容姿だけでは



あたたかいスープを提供



各地で様々な取組みが

東池袋公園でも「緊急相談会」が行われました。こちらには訪問していませんが、報道内容でみる限り、大久保公園の場合と似ていたようです。

多摩地区では、退職者会会員の郡司實さんが中心メンバーの一人である「府中緊急派遣村」の呼びかけにより、「三多摩コロナ困りごと相談」が、府中、国立、多摩、立川、狛江で行われました。

国立や狛江の取組みには、退職者会会員や元清掃の仲間が中心的役割を果たしていますので、報告したいのは山々ですが…、続きは来月号で…。



プライバシー保護のため、会場内撮影禁止 (奥のテントで相談会と食事等提供)

**コロナ対策の無謀・無策を許さず
市民と野党の共闘で
官政権を退陣に!**

コロナの感染が急増する中、20年最後の19日行動が、12月19日、国会議員会館前歩道で行われ800人が参加しました。退職者会は9人でした。

**アベからガースーに代わって
3ヶ月、無策さがあらわに**

主催者は「菅首相就任から3ヶ月経った。コロナ対策の手立てなしに無謀なGOTOに固執し、学術会議問題では説明責任を果たさない。市民と

野党の共闘で菅政権を退陣に追い込もう」と訴えました。**各分野から菅政権批判続出 今年も19日行動で頑張ろう**

市民からのアピールで、看護関係の方から「コロナ禍以前から医療は崩壊寸前。コロナ感染者が非難されているが、安心して病気にかけられ、老いていける体制整備は国の責任だ。国に向かって声をあげ続けよう」と、ヨコスカ平和船



団から、「自衛隊員の海外派遣と自殺者数の増加が重なっている。自衛官から『戦争するためには自衛隊に入らなければいけない』との声が寄せられており、自衛隊官舎へのアンケートでも、『憲法9条が自衛官を守っている』との回答の割合が多かった」などの報告がされました。その他、「桜を見る会」を追及する法律家の会と日本山妙法寺が報告しました。今年も、19日行動は続きます。頑張りましょう。

**サンケン電気は韓国サンケンの
解散を撤回しろ! 12・20デモ**

コロナで来日闘争を行えないという隙をついて、韓国子会社の解散を決定、解雇を強行しようとしているサンケン電気は、日本を代表する電気機器メーカーです。破廉恥なサンケンを許さないと、12月20日、新座市のサンケン本社前で抗議デモが闘われました。

◆現地とネットで共闘

デモの事前集会で、主催者の全労協渡邊議長は、労働者の首切りを許さない闘いと、かつて植民地化した韓国現地との共闘の重要性を訴えました。

そして、ネット上で韓国現地とつながり、3年前の解雇撤回闘争で来日し、闘いの中心を担った韓国サンケン労組副支会長キムウニョンさんの「日本の仲間



の支援に応え、職場復帰するまで闘い抜く」という感動的決意表明が会場に流れました。**◆サンケン本社前で抗議** デモは志木駅前を通過してサンケン本社前へ。会社前の道路は「サンケン通り」、サンケンの力がいかに大きいかを感じさせます。デモ隊は、「廃業撤回」「解雇撤回」を力強くアピールして抗議しました。次の大きな行動は、1月21日、池袋での抗議集会です。